

H27 堅果類（ドングリ）の豊凶調査の概要について

1 堅果類（ドングリ）の着果状況について

秋のクマの主食と考えられるブナ、ミズナラ、コナラの実の豊凶調査（着果状況）の結果、樹種毎の作柄は、ブナ、ミズナラは並作、コナラは不作となりました。

この結果は、クマが大量出沒した年と比較すると良い傾向です。

2 ツキノワグマの出沒の可能性について

標高が高い所に生育するブナ、ミズナラの作柄は、大量出沒のあった年と比べて良い状況、コナラの作柄については同等でした。

今年度は、昨年度のような平野部への大量出沒の可能性は低い見通しですが、人身被害等防止のため、今後の目撃痕跡情報に十分注意してください。

3 森林研究所の樹種別着果状況調査結果（調査時期：ブナ8月、ナラ8月中下旬）

樹種	ブナ
作柄	並作 ・凶作だった昨年より良い
調査箇所	14箇所、303個体調査 ・境川、嘉例沢、立山桑谷、立山ブナ平、有峰下部、有峰祐延、有峰峠谷、大長谷、山の神、細尾峠、菅沼、ブナオ峠、大門山、医王山
樹種	ミズナラ
作柄	並作 ・凶作だった昨年より良い
調査箇所	16箇所、368個体調査 ・境川、嘉例沢、平沢、馬場島、芦峠寺、有峰猪根、有峰西岸、有峰峠谷、有峰東谷、桧峠、牛岳、大長谷、山の神、細尾峠、西赤尾、医王山
樹種	コナラ
作柄	不作 ・並作だった昨年よりやや悪い
調査箇所	9箇所、203個体調査 ・三峯、魚津、東福寺野、吉峰、猿倉、頼成、医王山、俱利伽羅、五位

（作柄は健全堅果密度と着果指数に基づき、豊作、並作、不作、凶作の4段階に区分）